

(前ページからの続き)

- 飯塚市移動等円滑化促進方針協議会(会長) [内田]
- 中間市まち・ひと・しごと総合戦略有識者会議(会長) [内田]
- 関門地域連携推進協議会(会員) [南]
- 中間市地域公共交通会議(委員) [内田]
- 遠賀中間広域連携プロジェクト推進会議(顧問) [内田]
- 北九州地域連携懇談会(構成員) [南]

■ 報道

- 西日本新聞、2019年5月17日、北九州面
「フットサル「ボルク」知名度アップを e スポーツチーム発足」 [南]
- 毎日新聞、2019年6月16日、地方版
「SDGs 知って! 「聞いたことがない」8割超 認知度向上へ活動必要 北九大1200人アンケート /福岡」 [片岡、小林]
- 毎日新聞、2019年6月20日、北九州面
「ゼロスタート～変わるギラヴァンツ～〈中〉 サポーターと一体感」 [南]
- 経済誌『財界九州』2019年6月号、
「“ノスタルジー”を生かし広域から集客 着々と進む文化財の「観光資源化」」 [南]

【告知】 関門地域共同研究会 成果報告会の開催

下関市立大学附属地域共創センターと北九州市立大学地域戦略研究所で構成する「関門地域共同研究会」は、1994年度から関門地域に関する様々な調査研究に取り組んでいます。

昨年度(2018年度)は、関門地域を取り巻く諸課題の中から、「アクティブシニア」と「日本遺産」の2分野の研究を行いました。この度、その成果報告会を開催いたします。また、併せてシンポジウム「関門地域における“文化財を活かした地域活性化”の可能性」を開催いたします。豊かな文化財を有する関門地域における取組の現状や、関門地域の文化財の持つ力を地域活性化により一層つなげるために必要な事項等について、専門家の方々や両大学の学生が登壇し議論を深めます。

詳細につきましては本研究所 Web サイト(<http://www.kitakyu-u.ac.jp/iurps/>)をご参照ください。皆さまの御参加をお待ちしております。

■ 日時・会場

日時： 2019年7月25日(木) 14:00～16:30

会場： 西日本総合展示場新館(AIMビル)3階 314・315会議室(北九州市小倉北区浅野3-8-1)

■ プログラム

- 14:00 開会
- 14:05～14:55 第1部 関門地域共同研究会 2018年度研究報告(2報告)
- 14:55～15:05 休憩
- 15:05～16:30 第2部 シンポジウム「関門地域における“文化財を活かした地域活性化”の可能性」
- 16:30 閉会

[発行]

公立大学法人

北九州市立大学 地域戦略研究所

〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1

Tel: 093-964-4302

Fax: 093-964-4300

chiikiken@kitakyu-u.ac.jp

<http://www.kitakyu-u.ac.jp/iurps/>

地域戦略研究所 研究報告会を開催しました。

北九州市立大学地域戦略研究所では、北九州地域のさまざまな課題解決やこれからのまちづくりのあり方について、学術的な視座から調査研究を行い、その成果を報告する研究報告会を年1回開催しています。都市政策研究所から地域戦略研究所へと組織替えして以降、2019年度が第4回目の開催となります。

第4回研究報告会は2019年5月10日（金）14:00～16:30、北九州市小倉北区の西日本総合展示場新館(AIM) 315 会議室において、下記の内容について報告を行いました。一般市民の方・行政関係者・地元企業・学界の方等各々57名のご参加をいただきました。厚く御礼申し上げます。

■北九州における集客イベントの効果と展望（5）

～国際スポーツ大会誘致や、各種スポーツのリーグ戦開催等に対する市民意識～

[地域戦略研究所 教授 南博]

■拠点をつなぐ公共交通の計画とその将来像

[地域戦略研究所 副所長・教授 内田晃]

■北九州市内におけるSDGsの認知度に関する調査

[地域戦略研究所 教授 片岡寛之]

[地域戦略研究所 准教授 小林敏樹]

■北九州市の文化コンテンツとしての漫画に対する提言

－韓国釜山広域市のGlobal Webtoon Centerを事例として－

[地域戦略研究所 特任講師 柳永珍]



カンボジアの道路損傷の状況を調査しています。

カンボジアの道路の多くは、国道であっても舗装が薄く、路盤の転圧も弱い。また舗装もAC(注1)ではなく簡易なDBST(注2)です。このけっして品質の良いとはいえない道路の上を過積載のトラックが頻繁に通るため、すぐに表面にクラックが入り、さらに雨季に降った大量の雨が逃げる排水溝がないため、路面に溜まり浸水し、舗装が浮きトラックの繰り返し荷重により剥がれ、ポットホール(写真)が発生してしまいます。このポットホールの修復に、小型建設機械が有効ですが、資金がないため購入できず、その結果、損傷箇所が悪化して穴が大きくなり、路盤まで侵食しているものが少なくありません。

こういった状況の中、小型建設機械を安価かつ安定して供給するしくみ(バリューチェーン)の調査研究を北九州地域の企業(注3)と協働してJICA及びカンボジア政府の協力を得て行っています。

(注1) Asphalt Concrete (アスファルトコンクリート) (注2) Double Bituminous Surface Treatment (二層瀝青表面処理)

(注3) 株式会社ウエスト・マネージメント (福岡県田川郡香春町)

[吉村英俊教授]



地域戦略研究所および所属教員の最近の主な活動記録 【2019年4月～6月】

ハワイ島における防災教育プログラムや復興事業の現状を調査 [内田晃教授]

科学研究費基盤(B)「災害や地域の特性に対応した木造応急仮設住宅の供給手法に関する研究」の一環で、2019年6月18日(火)から6日間の日程で米国ハワイ州を訪問しました。オアフ島ホノルル市にある中央政府の機関であるNDPTC(National Disaster Preparedness Training Center)では、ハワイ大学のKarl Kim教授他からハワイ島における組織横断的な防災教育のプログラムや、国家規模でのコンソーシアムによる教育体制についてヒアリングを行うとともに、ハワイ諸島でのハリケーンや火山噴火後の復興事業の現状について説明を受けました。ハワイ島では2018年5月のキラウエア火山噴火で被災した分譲住宅地とその後建設された仮設住宅を見学しました。災害が起きた際に機動的に活躍できる人材を全国規模で育成・研修する取り組みは、我が国の今後の防災教育のあり方を考えるうえで大いに参考になりました。



NDPTCでのヒアリング



キラウエア火山の溶岩流で被災した住宅地

北九州市漫画ミュージアムで文化コンテンツとしての漫画に関するプレゼンと意見交換会を実施 [柳永珍特任講師]

2018年度地域課題研究の1つ「北九州市の文化コンテンツとしての漫画に対する提言－韓国釜山広域市のGlobal Webtoon Centerを事例として－」の結果報告を5月10日（金）の第4回研究報告会で行いました。当日、報告会にご参加いただきました北九州市漫画ミュージアムの関係者の方々から、調査研究の内容に基づき漫画ミュージアムの未来のビジョンなどについて意見交換を行いたいという提案があり、6月20日（木）にプレゼンテーション及び意見交換会を行いました。漫画ミュージアムは今年で7年目を迎え、昨年9月に締結した釜山広域市Global Webtoon CenterとのMOUも含め事業展開を積極的に進めています。今回のプレゼンは、韓国釜山市の事例を歴史や取り組みの部分からその情報を詳しく共有すること、SWOT分析による漫画ミュージアムの強みと弱点及び機会と脅威を把握すること、また主な需要者であるマニアと専門家たちの多様な意見を紹介すること、これらの3つの内容がポイントでした。特に、釜山との交流は今年からもっと本格化することのことでした。プレゼンの後は、館長と事務局長を含め11人の職員の皆さんと質疑応答および漫画ミュージアムの在り方について多様な意見交換を行いました。文化的なコンテンツの重要性が強調されている現代社会において、漫画ミュージアムは北九州地域の大事な資源であることを改めて実感した時間であり、また、漫画ミュージアムの次のステップを真剣に考えている職員の志を感じました。



漫画ミュージアムの関係者と意見交換

その他の主な活動記録 ※各項目ごとに原則として主担当教員等(□表記)の五十音順に列挙

■地域課題に関する研究、共同研究、受託研究での調査等 (抜粋)

- 「関門地域共同研究会運営委員会」(4/24、下関市立大学) [南]

■講演等

- 「講演：サテライトキャンパスサミット2019 in Niigata」(6/28：新潟日報メディアシップ) [内田]
- 「意見交換会：北九州市と漫画と文化コンテンツ 釜山の『Global Webtoon Center』からの示唆」(6/20：漫画ミュージアム) [柳]

■国・地方自治体・経済界等の各種審議会・委員会 (開催された主なもの等を抜粋)

- 北九州市都市計画審議会(座長) [柳井]
- 北九州市公共事業評価に関する検討会議(座長) [柳井]
- 北九州市宿泊税に関する調査検討会議(構成員) [柳井]
- 直方市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会(会長) [内田]